

よらねかむ 小合

地域の人口動態

	平成24年4月末現在
世帯数	1,184戸
男	1,951名
女	2,052名
人口	4,003名

2012. 5. 31 第28号

発行者 小合地域コミュニティ協議会

発行人 四柳 健 二



地域と連携する学校
新潟市立小合中学校長 大岩 登

今年度も三校(小合東小・小合小・小合中)は、地域と連携して、子どもたちの教育活動を推進して参りたいと考えております。
その大きな連携の一つとしては昨年度から始めました、小中地域連携による「小合愛さつ運動」が挙げられます。昨年度の運動の展開にあたっては、次のような運動主旨を共有させて頂き、充実するものとなりました。

○運動の主旨

「挨拶は誰しも交わされると嬉しく、明るく、元気になる。また、お互いの心を開く切っ掛けになる。特に、朝の挨拶により一日の活動や仕事等の意欲が湧き起こってくる。何時でも地域で自然と挨拶が交わされるよう温もりある地域をイメージする。今よりも一層、挨拶を交わすことで地域内の人々が心の絆が深められるようにする。また近い将来、挨拶が小合地域の自慢となり、誇りとなり、延いては地域の安全安心に繋がるようにする。」と。

今年度はこの運動をさらに高め、今年度「小合愛さつ運動」の強調週間を、春と秋に設けることに致しました。挨拶運動が一層充実発展するよう、地域の皆様のご支援ご協力をお願いします。

ところで、今年度の小合地域コミュニティ協議会の重点目標は以下の内容と受け承っております。

- 一、愛さつ運動の継続的実施
学校三校及び町内会、民生委員会、各種団体と連携した運動を展開し、広く地域までの定着を目指す。
- 二、災害に強い避難訓練の実施
町内会と連携した小学校区別避難所グループ検討会及び訓練の実施。
- 三、見守り、救急時の支援体制
高齢者などが病気で救急車を頼んだ場合の本人確認及び行き先の病院を決める個人情報保管筒の配布事業を全戸、三年計画で行うことの検討。
- 四、世代間交流のスポーツ大会
スポーツ振興会と共催のソフトバレー大会、輪投げ大会等、地域親睦の老若男女による楽しいスポーツ大会。
- 五、地域クリーン作戦の実施
生活道路の環境美化及び子どもボランティア活動体験。
- 六、広報誌の発行回数拡大。
情報は地域づくりの要、地域の情報を集めて広く発信する。

学校側もこのような地域の活動に対し、最大限の連携協力を行いたいと考えますので、よろしく申し上げます。



昨年の愛さつ運動出発式

シリーズ

「昔の農業」(農具)

有機栽培

「堆肥」(たいひ)の歴史

ほんの数十年前までは、人力による田植え、稲刈りを行っていました。土地改良と農業機械の驚くべき発展により農業は大きく様変わりしました。昔の農業や道具の歴史を探ってみる事とします。

一九五〇年代あたりまでの農家は畑や田んぼに「堆肥」と呼ぶ肥料を用いていた。

堆肥の材料としたのは、家畜の畜舎で使った敷き藁を家畜の糞尿とともに取り出したもの、又は田畑で除去した雑草や収穫後の作物の茎葉などを、屋外に堆肥して腐らせて使用した。

堆肥は作物の生育に必要な養分としてよりも、土質改良を目的として使われた。しかし、近年は土壌は作物の体を支え、作物の生育に必要な養分を保持する場とし、主に化学肥料を使っている。

だが昔、冷害には、堆肥を多く施した方が、冷害の被害が軽くなり、いわゆる「有機栽培」を行っている被害は軽微ですむ。

又、堆肥などを用いる有機栽培は、土の中の微生物も育て、他の生物多様性の保護にも繋がる。

参考文献・平田貞雄 著

「雪国の農具と民具」

堆肥の散布には、「えび」と呼ばれる農具や、「フォーク」を用いた。フォークは現在でも別の用途で使用されている。



昔のフォーク



堆肥は土壌改良の役割



地域の防犯・防災メモ

1. 空き巣ねらいに注意

空き巣や忍び込みなど、住宅侵入の多い手口が窓から侵入するものが多いです。

又、外部から中の品物が容易に見える事が侵入する要因の一つですので、カーテンで遮る事も対策となります。

窓のクレセント部分を破壊して侵入する手口には、窓周りの対策として、

★2重ロックや、手軽に設置できる窓用補助鍵がホームセンターで販売されています。

小合地域でも何件かの空き巣が発生していると聞きます。

★犯人は、明るい所や、音(足音)などを嫌いますので防犯灯や、侵入口に砂利を敷くことも効果的です。

★一時的に外出するときは、防犯として一部の電気を点けておくことも大切です。

2. 「火の用心」しましょう

新聞、テレビ等で、住宅火災で死亡するなど悲惨なニュースも報道されます。

お年寄りの方が多く巻き込まれております。

★法律で「住宅用火災報知器」の設置が義務付けられました。(新潟市、火災予防条例)

★建物火災の9割が住宅火災、逃げ遅れが原因でお年寄りが事故の被害に遭遇しています。

★「住宅用火災報知器」は寝室に設置し、煙や熱を感知して火災発生を音声で早期に知らせ、被害を防ぎます。

3. 振り込めサギに注意

小合地域でも、「振り込めサギ」の電話は掛っています。

「電話番号が変わった」や「風邪を引いて声がおかしい」の電話はサギだと思って下さい。

★犯人と直接話さないのが一番です。在宅時でも留守番電話にする方法もあります。

★最近では利殖還元などの「還元金」詐欺も発生していますので、注意が必要です。

地域コラム

藤の花が咲きました

テレビ等で、北方博物館の藤棚のライトアップ報道がありました。5月初旬に小合西部の「玄證寺」でもひっそりと且つ華やかに藤棚の花が咲きました。

春を迎えて、皆さんのお近くでも色々な花が咲いていることでしょうか。

秋葉区は花と鉄道というテーマで地域の活性化を進めています。花は小合の特産であり、小合の色んな花をもっとアピールしても良いのではないのでしょうか。

小合の花に関する身近な情報がありましたら、コミセン総務部までお願いします。



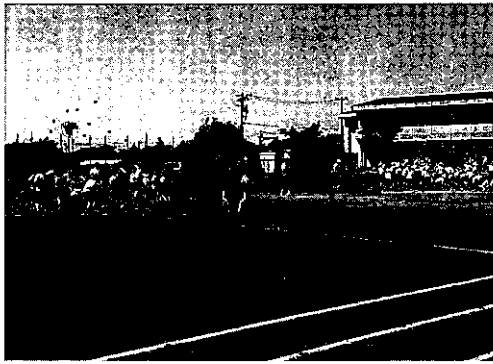
青空のもと、小合の各小学校で 大運動会が開催されました

五月十九日と二十日、小合地域の二校の各小学校で大運動会が開催されました。各学校には、わが子や、お孫さんの成長ぶりを見にこられた方々の大きな声援が響いていました。



五月十九日(土)

小合東小学校グラウンド



五月二十日(日)

小合小学校グラウンド



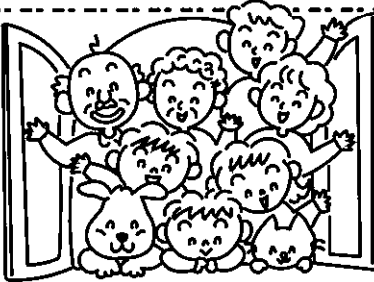
ふれあい・いきいきサロン

(お茶の間)の紹介 小合地区社協の活動より

お茶の間サロンとは？

各家庭の中に、お茶を飲みながらおしゃべりする「茶の間」があるように、住み慣れた地域の中にも、そんな茶の間があったら良いのにと考えられたのが「お茶の間サロン」です。

サロンは、各町内単位で開設し誰でも参加でき、お茶飲みだけでなく、健康体操やボランティアによるミニ二教室、地域のサークル活動紹介などを、各サロン独自で計画を立て、行っています。小合地区では、表のように十組のふれあいいきいきサロン(お茶の間)があり、各公会堂や、集落センターで活動しています。この活動は、新潟市の社会福祉協議会などからの助成金を受けることができます。



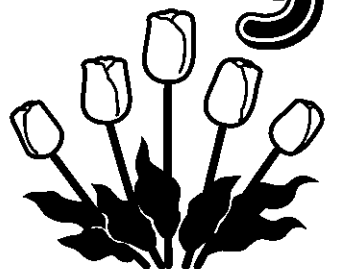
小合地域ふれあいいきいきサロン

地域名	サロン名称	実施日・時
大 鹿	大鹿ふれあいサロン	毎月第2・4月曜日 13:00~16:00
小戸上組	あやめ会	毎月第1金曜日 9:00~12:00
小戸下組	さくら会	毎月第3火曜日 9:00~11:30
小屋場 梅ノ木	梅ノ木・小屋場 いきいきサロン	毎月第3木曜日 13:00~15:30
子成場	子成場 いきいきサロン	毎月第1・3日曜日 13:00~17:00
四ツ興野	サロン親興会	毎月第3日曜日 13:00~17:00
蕨曾根	蕨曾根 いきいきサロン	月1回不定期 13:00~16:00
大 秋	にぎやかサロン	毎月第3月曜日 13:00~17:00
川 根	楽々クラブ	毎月第3日曜日 13:00~15:30
出 戸	出戸 ふれあいサロン	毎月第2土曜日 13:00~16:00



新たに開設した「出戸ふれあいサロン」(健康体操の様子)

地域で、お茶の間サロンを開くことにより、地域交流、仲間作り、閉じこもりを防止し、世代間交流を進めることが出来ます。小合では数年前から各サロンが活発に活動しており今年も4月から新たに出戸にふれあいサロンが開設され、現在活動を始めています。



地域の掲示板

平成二十四年度

小合地域コミュニティ協議会

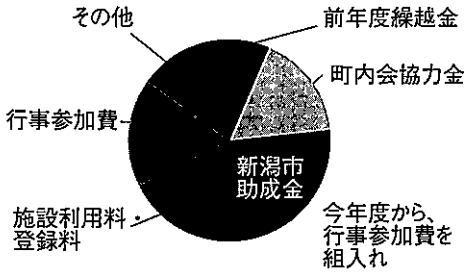
代議員総会開催

四月二十二日、平成二十四年度小合地域コミュニティ協議会代議員総会がコミュニティセンター大ホールで開催されました。

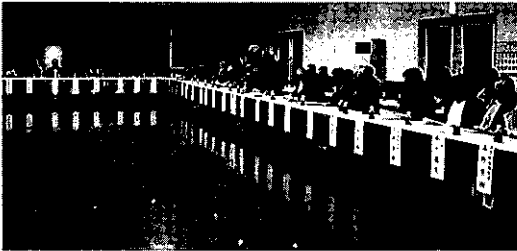
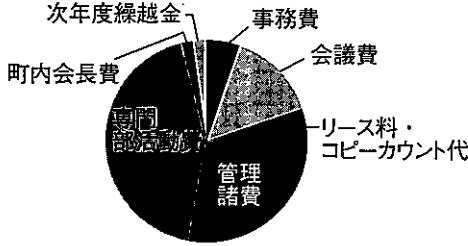
各地域町内会様初め60名余りの参加者があり、平成二十四年度の事業報告と、次に平成二十四年度のコミュニティ協議会事業の基本方針及び、重点目標が提案され、審議されました。

又、各専門部会からは、今年度の活動計画が発表されました。今年度の目標では、大変建設的な意見があり、コミュニティ活動に有意義な会議となりました。

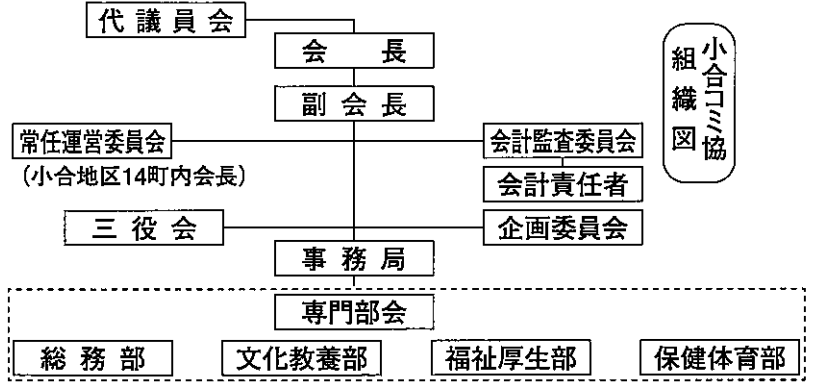
平成23年度 コミ協決算 収入の部(合計594万円)



支出の部(合計594万円)



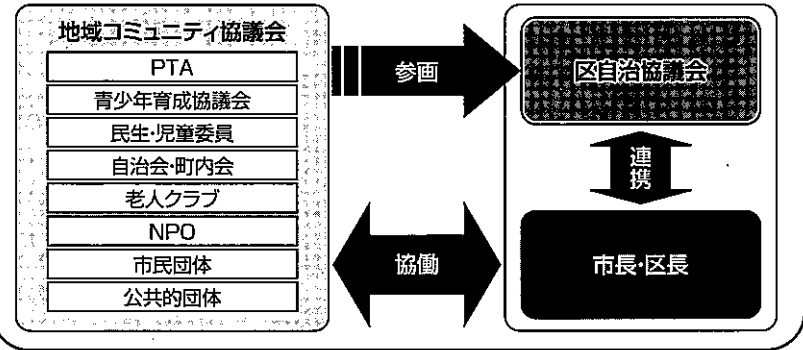
小合地域の各代議員が参加して総会を開催



小合コミ協 組織図

参考 地域コミュニティ協議会とは?(新潟市のホームページより)

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域のことは地域で考え自ら解決する「住民自治」の考えに基づき、地域における課題を解決するため、地域で自主的な取組のもと結成された任意組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、PTA、青少年育成協議会、老人クラブ、婦人会、NPO、民生・児童委員など、地域のさまざまな団体等で構成されています。



各専門部の主なイベント計画

- 【総務部】**
- ★ 広報誌の発行(5~6回)
 - ★ 地域自主防災訓練の計画
 - ★ 小合地域懇談会
 - ★ クリーン作戦の計画
- 【文化教養部】**
- ★ 読み聞かせ(11回予定)
 - ★ 笹団子づくり教室
 - ★ トールペイント教室
 - ★ ぶどうのつる細工教室
 - ★ そば打ち体験教室
 - ★ 文化講演会

- 【保健体育部】**
(一部スポーツ振興会と共催)
- ★ 健康ウォーク(4回予定)
 - ★ ゴルフ大会
 - ★ ソフトバレーボール大会
 - ★ スリッパ卓球大会
 - ★ 輪投げ大会
 - ★ 他
- 今年度は、ソフトバレーボール大会を1回に、スリッパ卓球の大会を開催。世代交流できる行事にチャレンジ!

- 【福祉厚生部】**
- ★ コミセン利用団体 合同発表会
 - ★ 敬老会
 - ★ ふれあい交流会
 - ★ 高齢者福祉学級
- 「コミセン」利用団体の発表会を計画!

編集後記

今年度の活動がスタートしました。皆様への地域情報伝達役として、広報全員総務部で取組みます。



親子で「おやき」作りに挑戦!

文化教養部の活動から「おやき作り教室」
2月26日(日)

「ひつじぐさ」は地元、大鹿出身の吉田千秋が作曲したことで知られています。この曲に合わせてレクダンスが披露されました。

当「コミュニティセンター」の利用登録団体のレクダンス「さつきちゃん」のメンバーがこの曲に合わせて創作したダンスが4月15日に「うららこすど」の創業記念祭の中で披露され、視聴者の歓声をあげました。みなさんも是非、踊ってみてはいかがでしょうか。

この記事は、読売新聞地域版に掲載されました。



「レクダンス」の歌に合わせてレクダンスを披露